

公開講演会

10月11日(土)に経済アナリストで獨協大学教授でもあられる森永卓郎氏による講演会「日本の社会保障をどうするのか」を開催し、多くの方々にお越しいただきました。難しいテーマでしたが、とても分かりやすくお話し下さいました。



学術講演会

9月26日(金)に「日本のホームホスピス&デンマークの福祉とケア」というテーマで学内で研修会が行われました。講師はデンマークで福祉の仕事に携わっておられるいつみ・ラワーセン氏とベンツ・ラワーセン氏でした。地域での看取りや在宅ケアに関心のある医師、看護師、介護士、PT、OTなど保健・医療・福祉の専門職と学内教員、事務職員が約30名参加しました。なぜ、デンマークが「世界一幸福な国」と呼ばれるのか、福祉の制度、教育制度から日本と比較し、わかりやすく説明がありました。いつみ氏からデンマークの福祉施設とケアの実際も写真で紹介され、ベンツ氏からはペタゴギックについて説明があり、ケアを行うときの根幹となる考え方、子どもや人間の権利、教育方法の違いなどが理解できました。参加者からは是非、デンマークに視察研修に行きたいという感想がありました。(文責：竹熊学科長)



動物慰霊祭



10月15日(水)に動物慰霊祭を動物舎横で行いました。本学の研究や教育の為に貢献してくれた動物達に、慰霊の辞及び献花を捧げ、冥福を祈りました。

第41回熊本県私立大学協会親善ボウリング大会

9月27日(土)にセンターボウルにおいて、熊本県私立大学協会親善ボウリング大会が開催され、本学から小野学長、齊藤事務局長、佐藤学務課長、小村さん、水野さん、行本さん(入試広報課)、宇和さん(総務課)の7名が参加しました。団体戦では、9大学中6位という結果でした。お疲れ様でした!



「学生によるオレンジリボン運動」

「オレンジリボン運動」とは、全国的に展開されている、子どもへの虐待防止を目指すキャンペーンです。昨年、助産別科学生が、近い将来、周産期医療の場で働く助産師学生への児童虐待予防の啓発活動として、「学生によるオレンジリボン運動」に参加いたしました。児童虐待予防の啓発活動に微力ながらも一翼を担うことができましたので、本年も、地域還元型授業の一環として実施いたします。さらに、本年は、「くまもと市オレンジリボンキャンペーン2014」への協力依頼があり、学生は、オレンジリボンサポーター(Orange Club: 児童虐待のない社会を応援するすべての人)養成講習会(10/3)を受講し、学園祭でのオレンジリボン運動をより効果的な啓発活動にできるよう学生総出で準備しています。

学園祭では、「学生によるオレンジリボン運動」にこぞって参加して頂き、児童虐待に関する知識を深め、児童虐待の予防・対策の重要性について一緒に考えてみましょう!(文責: 堅野教授)



写真:「NPO法人 ほっぷ・すてっぷ・CAPくまもと」によるオレンジリボンサポーター(Orange Club 養成講習会)の様子です。

ソフトエアロビ

9月22日(月)に衛生委員会によって企画された日赤健康管理センターとの共同企画、「健康づくり教室」の第2回目「ソフトエアロビ」を、本学教職員の希望者を対象として実施しました。アリーナを広々と使用し、初めはぎこちなかった動きも、最後には音楽にノリノリでエアロビを楽しむことができ、とても気持ちのいい汗をかくことができました。次回は、のんびり体操です。多数の参加お待ちしております。(文責: 衛生委員会事務局)



城北校区秋まつり「ふれあいの日」

10月5日(日)熊本市の城北小学校PTA主催行事、城北校区秋まつり「ふれあいの日」が開催され、昨年同様本学も地域貢献の一環として、北区役所保健子ども課と共同の健康チェックコーナーと赤ちゃん抱っこで参加いたしました。

医学検査学科が血管年齢・骨密度・体成分の検査を行い、近郊住民の方や城北小学校教員・PTAなど65名の方が受けられました。また看護学科は赤ちゃん抱っこ体験・モデル人形や生徒たちの心臓の音を聴く体験を行い、小学生ら110名が体験しました。(文責: 地域連携委員会事務局)

